

非常に性質が強く、大変育て易いペゴニア。

< 植物名 >

ペゴニア
センバフローレンス
ピンク

水やり

土の表面が乾いたら水やりを。

置き場所

日当たりの良い場所へ。

用土肥料

開花中はリン酸分が多めの肥料を与える。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

種まき 挿し木

冬越し

秋から春は室内の日当たりの良い場所へ。

使い方 鉢植え・ハンギングバスケット・寄せ植えなど

学名 Begonia

英名 begonia

属名 シュウカイドウ

科名 シュウカイドウ

性状(分類)

原産地 ブラジルほか

花の色 ピンク

開花期 3月～10月

購入時期

草丈 20～40 cm

ID 594

季節 春 夏 秋

JFコード 42073



冬越しと置き場所

水はけが良く、肥沃な土壌を好む。日光を好み、日照不足になると花もちが悪くなる。霜の恐れがない季節には、戸外で十分日光を当てるようにする。ただし真夏は風通しの良い半日陰に置く。秋から春は室内の日当たりの良い場所へ。冬は5～10℃以上必要で、室内で育てる。

その他の解説

開花中は、リン酸分が多めの肥料を与えると、花つきがよくなり長期間楽しめる。花が終わったら切り戻して、次に花をつける新芽を伸ばしてあげる。

特徴1

ペゴニアの中でも丈夫で育てやすい種類。水のやりすぎは根を傷めるので要注意。土の表面が乾いたら水やりを。ただし、冬場は乾かし気味に管理する。挿し木は容易だが、上の方の枝ではなく、株元のわき芽のある枝を使用する。

特徴2

ペゴニア属は約2000種あると言われ、膨大な数の園芸品種があり、茎や根の形態によって木立性、根茎性、球根性の3タイプに分けられる。その中でもペゴニアセンバフローレンスは非常に性質が強く、大変育て易いペゴニア。非耐寒性。